

# 同志社大学

## 2008年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2009年 3月20日提出

| 所 属                 | 職 名   | 氏 名     |
|---------------------|---|---------|
| 法学部                 | 教 授   | 西 村 安 博 |
| 研 究 題 目             | 鎌倉幕府の裁判関係文書に関する法制史的基礎研究・V   |         |
| 研 究 成 果<br>の<br>概 要 | <p>(1) 本研究は、2007年度に引き続き、日本中世の裁判手続法史に関する実証的研究を行うものである。個人研究費による課題遂行に加え、研究申請者が研究代表者となっている研究課題である日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究(C)「日本中世の裁判における判決および判決理由に関する法制史の実証研究」に同時に取り組んでいる。他方で、比較法制史的観点からの研究にも取り組んでおり、同科学研究費補助金・基盤研究(B)「紛争解決類型の比較史」(研究代表者=駒澤大学法学部 北野かほる教授)および同・基盤研究(B)「裁判過程から見るギリシア・ローマ法の実践的再構成」(研究代表者=大妻女子大学文学部 葛西康德教授)によって進行している共同研究にも参加している。2008年8月には、「紛争解決類型の比較史」に関する研究会において報告を行うとともに、2009年2月には、同研究会が若曾根健治教授(熊本大学法学部西洋法制史担当)を招聘して若曾根教授のご業績に関する研究会を開催した際に、コメンテーターの一人として発言を行った。</p> <p>(2) 本年度には、わずかながらも次に記すような成果を得るにいたった。</p> <p>第1に、単著論文として西村安博「鎌倉幕府の裁判における問状・召文に関する覚え書き」(同志社法学会編『同志社法学』第60巻第7号=佐藤義彦教授古稀記念論文集、2009年3月刊行予定、原稿受理印刷中)である。</p> <p>第2に、書評として西村安博「岩元修一著『初期室町幕府訴訟制度の研究』吉川弘文館、2007年」(法制史学会年報『法制史研究』第58号、成文堂、2009年3月刊行予定、原稿受理印刷中)である。</p> |         |